

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年10月26日～10月30日)

発表日: 2009年10月23日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

(10月26日～10月30日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
10月26日 (月)					
10月27日 (火)					
10月28日 (水)	8:50 9月商業販売統計 小売業販売額(前年比)	▲1.9%	▲1.6%	▲2.3%～+0.5%	▲1.8%
10月29日 (木)	8:50 9月鉱工業生産指数 (前月比)	+0.8%	+1.0%	+0.4%～+1.6%	+1.6%
	(前年比)	▲19.4%	▲19.3%	▲19.8%～▲18.0%	▲19.0%
	8:50 9月企業向けサービス価格指数 (前月比)	—	—	—	▲0.4%
	(前年比)	—	—	—	▲3.5%
10月30日 (金)	8:30 9月消費者物価指数・全国コア (前年比)	▲2.4%	▲2.4%	▲2.6%～▲2.3%	▲2.4%
	全国総合 (前年比)	▲2.2%	▲2.2%	▲2.4%～▲2.1%	▲2.2%
	8:30 10月消費者物価指数・東京コア (前年比)	▲2.1%	▲2.1%	▲2.2%～▲1.9%	▲2.1%
	東京総合 (前年比)	▲2.1%	▲2.0%	▲2.3%～▲1.8%	▲2.0%
	8:30 9月労働力調査 完全失業率	5.6%	5.6%	5.4%～5.7%	5.5%
	8:30 9月一般職業紹介状況 有効求人倍率	0.42倍	0.42倍	0.41倍～0.43倍	0.42倍
	8:30 9月家計調査(農林漁家世帯を含む) 実質消費支出・全世帯(前年比)	+1.3%	+1.1%	+0.2%～+2.6%	+2.6%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	+0.8%	—	—	+1.2%
	14:00 9月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比)	▲37.0%	▲37.0%	▲41.1%～▲30.0%	▲38.3%
	(季調値年率)	70.0万戸	70.0万戸	65.3万戸～74.8万戸	67.6万戸
	15:00 10月日銀展望レポート				
	15:30 日銀総裁定例記者会見 金融政策決定会合				

(注) 市場予測はBloomberg、日経quick調査をベースに作成

## 【重要指標の当社予測とコメント】

### 9月小売業販売額(前年比) 当社予想: 前年比 ▲1.9% 中央値: 同 ▲1.6%

9月の小売業販売額は前年比▲1.9%、前月比+0.3%を予想する。9月は、昨年と比較して祝日が1日多く、とくに5連休となったシルバーウィークは好天に恵まれたこと、気温が低く衣料品など秋物商材に動きがみられたことなどから、百貨店、チェーンストア販売は前年比のマイナス幅が縮小した。自動車販売も好調さを維持したことから、小売業販売額も前月比プラスとなった可能性が高い。

(エコノミスト: 中本 泰輔)

### 9月鉱工業生産指数(前月比) 当社予想: 前月比 +0.8% 中央値: 同 +1.0%

9月は前月比+0.8%と7ヵ月連続の上昇を予想する。在庫調整の進展や輸出の増加を背景に、7-9月期の鉱工業生産も、引き続き高い伸びとなったことが確認されるだろう。年度後半にかけては、在庫調整の進展による大幅なリバウンドが一巡することで、増勢は鈍化するが、各国の景気刺激策が需要を支えることから、生産活動の持ち直しは続く予想する。(副主任エコノミスト: 齋藤 俊輔)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**9月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比 ▲2.4% 中央値：同 ▲2.4%**

9月の全国CPIコアは前年比▲2.4%を予想する。石油製品のマイナス寄与縮小と、米国型コアのマイナス寄与拡大が打ち消しあう結果、8月から下落幅は変わらないだろう。

10月以降については、これまでとは逆に、昨年同時期（リーマンショック後）に原油価格が急落した裏が出ることから石油製品価格の下落幅が急速に縮小し、2010年には逆にプラス寄与に転じるだろう。結果として、消費者物価全体でもマイナス幅は縮小し、2010年1-3月には前年比▲1%台前半程度になると予想される。もっとも、需給面からの物価下落圧力が根強く残ることが予想されるため、2010年度に関しても消費者物価指数のプラス転化は難しいだろう。（主任エコノミスト：新家 義貴）

**9月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：5.6%／0.42倍 中央値：5.6%／0.42倍**

9月の完全失業率は8月から0.1%ポイント悪化の5.6%を予想する。先月、完全失業率は低下したが、もともと振れやすい統計でもあり、基調としては悪化が続いていると思われる。生産の回復や各種経済対策により景気は持ち直しているものの、企業の雇用過剰感は依然強く、雇用環境の悪化は続く公算が大きい。改めて雇用環境の悪化を確認する結果となるだろう。（エコノミスト：岩田 陽之助）

**9月家計調査（農林漁家世帯を含む） 当社予想：前年比 +1.3% 中央値：同 +1.1%**

9月の実質消費支出（全世帯）は前年比+1.3%、前月比▲0.2%を予想する。9月は、経済対策効果やマインドの改善、シルバーウィークなどが消費の下支えとなったと考えられるものの、8月に前月比+1.9%と高い伸びとなったことによる反動が出ると見込まれることから、前月比で小幅マイナスに転じると考えられる。もっとも、当社の予想通りとなった場合、7-9月期の家計調査の実質消費支出（全世帯）は前期比+0.3%となる。GDPの個人消費も2期連続で前期比プラスとなる可能性が高いだろう。

（エコノミスト：中本 泰輔）

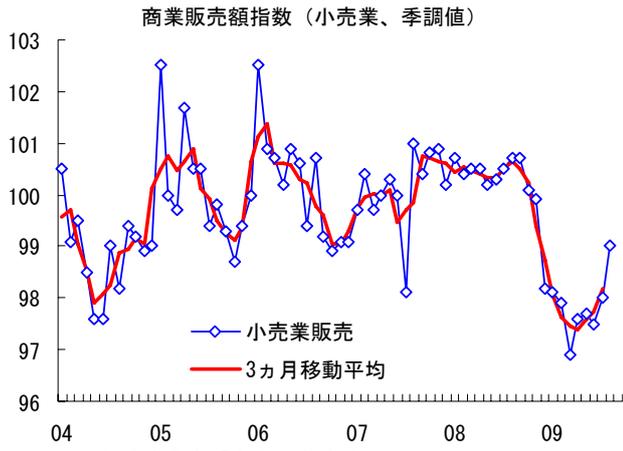
**9月新設住宅着工戸数（前年比） 当社予想：前年比 ▲37.0% 中央値：同 ▲37.0%**

9月の住宅着工戸数は、年率換算済み季節調整値70.0万戸、前年比▲37.0%を予測する。雇用・所得環境や金融機関の融資態度の厳しさが続くなか、住宅着工は引き続き低水準で推移することが予想される。もっとも、マンション販売環境が持ち直しつつあることや持家着工に先行する土地成約件数の堅調な推移が続いていることを考慮すると、先行きの住宅着工は下げ止まる可能性がある。

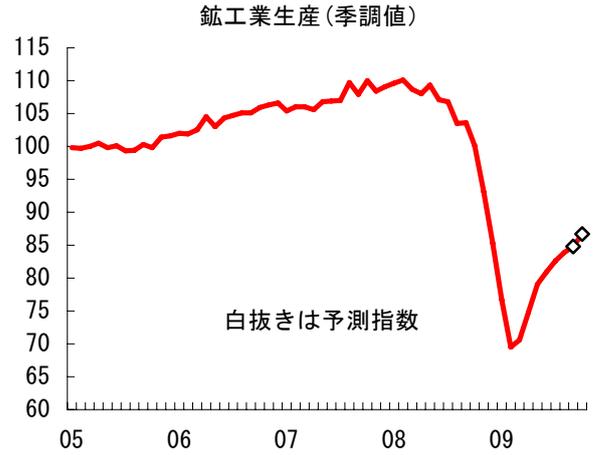
（エコノミスト：小杉 晃子）

以上

図表 1



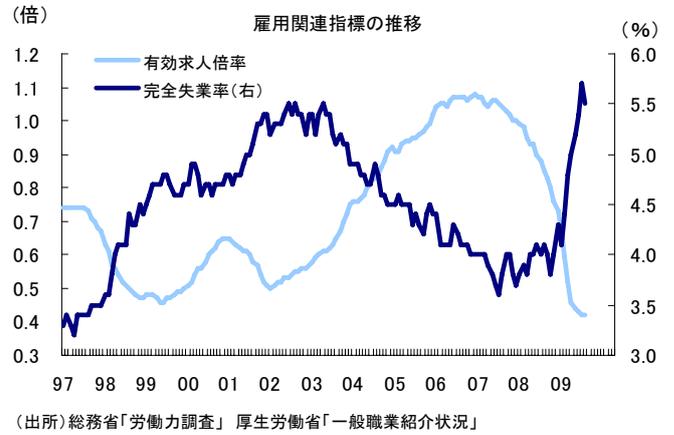
図表 2



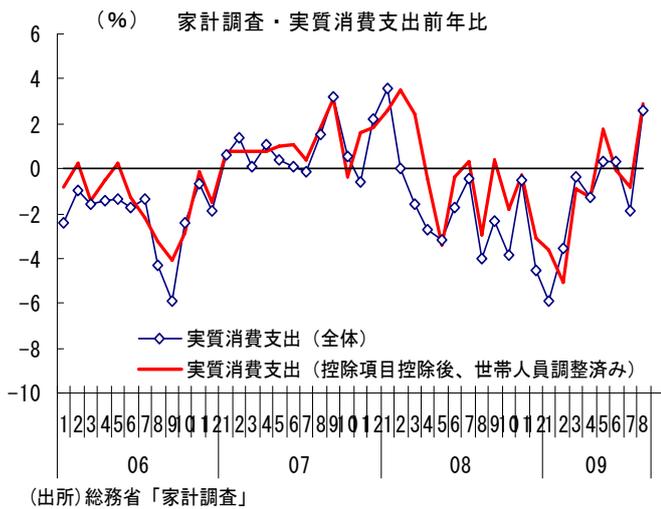
図表 3



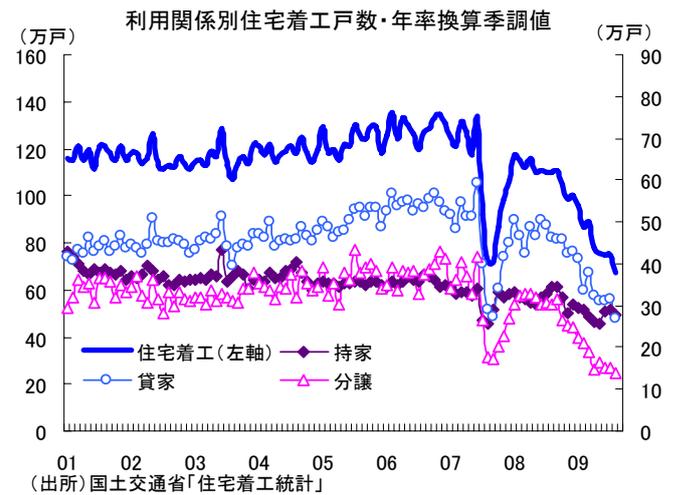
図表 4



図表 5



図表 6



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/28	29 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 2年利付国債  (米)9月CB消費者信頼感指数 (英)4-6月期GDP(確)	30 8月鉱工業指数(8:50) 8月毎月労務統計(10:30) 8月住宅着工統計(14:00)  (米)4-6月期GDP(確) (米)9月シカゴPMI (欧)9月消費者物価(速)	10/1 9月日銀短観(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00)  (米)8月個人所得・消費 (米)9月ISM製造業指数 (米)8月中古住宅販売保留 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売 (欧)9月製造業PMI(確)	2 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マナタリーベース(8:50)  (米)9月雇用統計 (米)8月製造業受注 (欧)8月生産者物価
5 (米)9月ISM非製造業指数 (欧)9月サービス業PMI(確) (欧)8月小売売上高 (インドネシア)金融政策委員会	6 10年利付国債  ※(シカゴホール)7-9月期GDP(予)	7 8月景気動向指数(14:00)  (米)8月消費者信用残高 (欧)4-6月期GDP(確)	8 8月国際収支(8:50) 8月家計消費状況調査(14:00) 9月景気ウォッチャー調査(14:00) 30年利付国債  (米)8月卸売在庫 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)8月鉱工業生産	9 8月機械受注統計(8:50) 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30)  (米)8月貿易収支 (独)9月消費者物価(確) (仏)8月鉱工業生産 (韓)金融政策委員会
12	13 9月マネーストック(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 金融政策決定会合(～14日)	14 9月企業物価(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)  (米)9月輸入物価 (米)9月小売売上高 (欧)8月鉱工業生産	15 10月ロイター短観(8:30) 8月商業販売統計・確(13:30) 8月鉱工業指数・確(13:30) 10月金融経済月報(14:00) 5年利付国債  (米)9月消費者物価 (米)10月NY連銀指数 (米)10月フィラ連銀指数 (欧)9月消費者物価	16 9月投入・産出物価指数(8:50) 8月毎月労務統計・確(10:30) 8月建設総合統計(14:00) 10月月例経済報告 白川日銀総裁挨拶  (米)8月対米証券投資 (米)9月鉱工業生産 (米)10月ミシガン大消費者センチメント (速) (欧)8月貿易収支 (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
19 8月第3次産業活動指数(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(9月16,17日分)(8:50) 9月全国百貨店売上高(14:30)  (米)10月NAHB住宅市場指数	20 8月景気動向指数改定(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) 20年利付国債  (米)9月生産者物価 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数	21 10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 西村日銀副総裁挨拶  (米)ページブック (タイ)金融政策委員会 (フランス)金融政策委員会	22 9月貿易統計(8:50) 8月全産業活動指数(13:30) 9月チェーンストア販売統計(14:00)  (米)9月景気先行指数 (米)8月FHFA住宅価格指数 (欧)8月経常収支 (中)7-9月期GDP (南ア)金融政策委員会	23 (米)9月中古住宅販売件数 (欧)10月製造業PMI(速) (欧)10月サービス業PMI(速) (英)7-9月期GDP(速) (韓)7-9月期GDP
26	27 (米)10月CB消費者信頼感指数 (インド)金融政策委員会	28 9月商業販売統計(8:50) 2年利付国債  (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (独)10月消費者物価(速) (マレーシア)金融政策委員会	29 9月鉱工業指数(8:50) 9月企業向けサービス価格指数(8:50)  (米)7-9月期GDP(速)	30 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合  (米)9月個人所得・消費 (米)10月シカゴPMI (米)10月ミシガン大消費者センチメント (確) (欧)10月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

### 11月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
11/2 9月毎月勤労統計(10:30) 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00)  (米)10月ISM製造業指数 (米)9月中古住宅販売保留 (米)9月建設支出 (欧)10月製造業PMI(確)	3 (米)9月製造業受注 (米)10月自動車販売	4 10月マネタリーベース(8:50) 白川日銀総裁講演  (米)FOMC (米)10月ISM非製造業指数 (欧)9月生産者物価 (インドネシア)金融政策委員会	5 金融政策決定会合議事要旨(10月13.14日分)(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (欧)ECB理事会 (欧)9月小売売上高 (英)BOE金融政策決定会合 (フィリピン)金融政策委員会	6 9月景気動向指数(14:00)  (米)10月雇用統計 (米)9月卸売在庫 (米)9月消費者信用残高
9 (独)9月鉱工業生産	10 9月国際収支(8:50) 10月マネーストック(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 9月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 10月景気ウォッチャー調査 40年利付国債  (独)10月消費者物価(確) (仏)9月鉱工業生産	11 9月機械受注統計(8:50)	12 10月企業物価(8:50) 5年利付国債  (米)10月財政収支 (欧)9月鉱工業生産 (韓国)金融政策委員会	13 9月商業販売統計・確(13:30) 9月鉱工業指数・確(13:30) 10月消費動向調査(14:00)  (米)9月貿易収支 (米)10月輸入物価 (米)11月シカゴ大消費者センチ(速) (欧)7-9月期GDP(速) (欧)10月消費者物価 (独)7-9月期GDP(速) (仏)7-9月期GDP(速) (仏)10月消費者物価 (伊)7-9月期GDP(速) (香港)7-9月期GDP
16 7-9月期GDP1次速報(8:50) 10月投入・産出物価指数(8:50)  (米)10月小売売上高 (米)11月NY連銀指数 (米)9月企業在庫 ※(インドネシア)7-9月期GDP	17 9月第3次産業活動指数(8:50) 9月建設総合統計(14:00)  (米)10月生産者物価 (米)9月対米証券投資 (米)10月鉱工業生産 (米)11月NAHB住宅市場指数 (欧)9月貿易収支 (南ア)金融政策委員会	18 9月毎月勤労統計・確(10:30) ※11月月例経済報告  (米)10月消費者物価 (米)10月住宅着工件数 (米)10月建設許可件数 (欧)9月経常収支	19 9月全産業活動指数(13:30) 9月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合(~20日) 20年利付国債  (米)10月景気先行指数 (米)11月フィラ連銀指数	20 ※09年9月末市街地価格指数(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 10月コンビニエンスストア統計(16:00)  (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)7-9月期GDP
23 (米)10月中古住宅販売件数 ※(欧)11月製造業PMI(速) ※(シンガポール)7-9月期GDP (タイ)7-9月期GDP ※(マレーシア)7-9月期GDP	24 11月金融経済月報(14:00) ※10月チェーンストア販売統計(14:00) ※10月全国百貨店売上高(14:30)  (米)7-9月期GDP(改) (米)11月CB消費者信頼感指数 (米)9月FHFA住宅価格指数 (独)7-9月期GDP(確) ※(独)11月Ifo景況感指数 (マレーシア)金融政策委員会	25 ※10月貿易統計(8:50) 10月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債  (米)10月個人所得・消費 (米)10月耐久財受注 (米)11月シカゴ大消費者センチ(確) (米)10月新築住宅販売件数 (英)7-9月期GDP(改)	26 金融政策決定会合議事要旨(10月30日分)(8:50)  ※(独)11月消費者物価(速) (フィリピン)7-9月期GDP	27 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月一般職業紹介状況(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月商業販売統計(8:50)  (台湾)7-9月期GDP (メキシコ)金融政策委員会
30 10月鉱工業指数(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) 10月軽自動車販売(14:00) 10月住宅着工統計(14:00)  (米)11月シカゴPMI (欧)11月消費者物価(速)	12/1 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債  (米)11月ISM製造業指数 (米)10月中古住宅販売保留 (米)10月建設支出 (米)11月自動車販売 (欧)11月製造業PMI	2 11月ロイター短観(8:30) 11月マネタリーベース(8:50)  (欧)10月生産者物価	3 7-9月期法人企業統計(8:50)  (米)11月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (欧)10月小売売上高 (欧)7-9月期GDP(改)	4 (米)11月雇用統計 (米)10月製造業受注

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。